

## 二十歳を迎えた皆さんへ

1月8日(日)に田布施中学校の体育館で『二十歳のつどい』が開催されました。二十歳を迎えた皆さん、新たな目標や夢に向かって元気に歩いていってください。

二十歳を迎えるにあたって、これからの夢や抱負を募集しました。その中の一部を紹介します。



## 二十歳のつどい実行委員会

### 藤井 雪菜

20歳を迎えて、今まで以上に責任も重くなり、それぞれ違う考えの中で、生活していきます。その中でも人間関係の難しさを社会人となって気づかされました。

学生のころ以上に、勉強や、頭の回転など、考える力の大切さも知ることができました。しかし、まだ未熟です。この先も学び続けて自分の力にしたいです。

### 西原 明日香

20年間生きてきて、私は本当にまわりの環境や人に恵まれていると感じます。これからも、今の環境を当たり前と思わずに、感謝しながら生きていきます。

### 八谷 美月

無事に成人になり、大人の仲間入りとなりました。これからはさらに自身の行動に責任を持ち、思慮のある行動をしていきたいと思えます。

### 平井 琉斗

親を旅行に連れて行きたい！

### 福光 由佳

成人を無事に迎えることができたのは、20年間両親をはじめとするたくさんの方々を支えられてきたおかげだと思います。これから立派な大人になれるように、さまざまな経験を積み重ねて、周りの人を大切にして生きていきたいです。

### 田中 梨花

いろんな経験を重ねて、いっぱい失敗も後悔もして楽しく生きて、最終的に後悔のない人生にする！

### 井上 真生

健康第一

### 中村 明日香

成人の自覚を持ち、お世話になった方々に恩返しのできるよう頑張りたいと思います。

### 三上 昌英

人から信頼され恥じぬ大人になります。

### 山本 麗琉

あらゆる人の健康を守るような医療従事者になれるように、勉強を頑張る！

私たちと人権シリーズ

## 人権課題解決のために

田布施町立麻郷小学校長

末次 淳義

今から数年前に、私は県内の市教育委員会で人権教育を担当していました。市民を対象とした人権学習講座を開催する際には、上司である課長に開講のあいさつをお願いしていました。その際、課長は必ずと言っていいほど、受講者に向けてコミュニケーション能力の重要性について話をされていました。ひよっとすると、「人権とコミュニケーション能力って関係あるの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんね。

県では『山口県人権推進指針』に基づいて人権諸施策を推進しています。この指針には、16の具体的な人権課題が示されています。その中の『同和問題』『ハンセン病問題』『性同一性障害の問題』など、多くの人権課題は無知、無理解、



無関心から始まった偏見や差別です。これらの課題を解決するためには、多様な価値観や考えをもつ人々と接する中で、自分の気持ちをうまく伝えることや、相手の思いや願いを分かろうとすることが大切です。他者と円滑にコミュニケーションをとることは、相手の人権を尊重する出発点であり、よりよい人間関係づくりの基本だと言えます。

しかし、コミュニケーション能力を向上させるだけでは解決できない人権課題もあります。近年、社会問題となっている『ヤングケアラー』もその一つです。令和四年七月に県が小学5年生から高校3年生を対象として実施した調査では、回答者の2.3%にあたる児童生徒が「家族の世話のため、やりたいけどできないことがある」と答え、ヤングケアラーの可能性があると発表されました。

児童虐待などを含め、子どもたちを取り巻く人権課題に対しては、私たち大人が子どもたちの小さな変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保つ必要があります。学校も、家庭や地域、関係機関と連携して、子どもたちの人権が尊重されるまちづくりに貢献したいと思います。

田布施町  
二十歳のつどい

